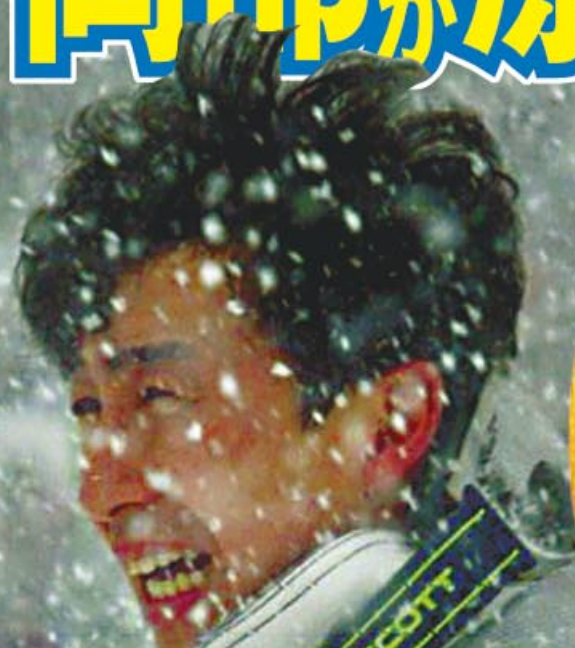


岡部が原田が137メートル

世界最強団体ジャンプ

斎藤K点越え連発 そして船木が決めた



日本大逆転金

ジャンプ団体

①日 本	933.0点
②ドイツ	897.4点
③オーストリア	881.5点

ジャンプ団体
白馬村ジャンプ競技場
ヒル(K点120)

最強日本ジャンプ陣がついに団体金メダルを獲得した。目にバツケンレコードの132本メートルを飛んだ原田雅彦(29=雪印)が4年前のリレハンメル大会の雪辱を果たし、号泣した。

17日、長野県白馬村の白馬ジャンプ競技場で行われたジャンプ団体レースで日本が優勝した。1本目終了で4位だった20メートル超えのジャンプが続いた。今大会、船木和喜(22=デサント)は2個目、日本は4個目の金、8個目のメダル。これで日本が夏季、冬季通じて五輪で獲得した金メダルは通算1000個となった。



日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

インターネット号外



2月17日
火曜日
1998年
(平成10年)
PM3:40

11日目・17日

おめでとう原田 1本目失敗ジャンプも、2本目137メートルの大ジャンプで悲願の団体金メダルを獲得したエース原田は感激の涙を流す。左上は世界の頂点に立った日本ジャンプ陣。左から原田、岡部、斎藤、船木。右下は原田2本目のジャンプ

ジャンプ団体・日本の成績			1本目	2本目
岡部 孝信	(雪 印)	121.5m 115.7点	137 m 143.6点	
斎藤 浩哉	(雪 印)	130 m 131.5点	124 m 124.7点	
原田 雅彦	(雪 印)	79.5m 35.6点	137 m 141.6点	
船木 和喜	(デサント)	118.5m 114.3点	125 m 126.0点	
		合計	933.0点	

悲願の金 五輪通算1000個目の金 冬季最多8個目のメダル